Fore Please／世界ゴルフ

識聞録

ゴルフビジネスのプロが30年以上回って見て聞いて感じた
世界のゴルフ文化をお届け。
最終回となる今回は、ゴルフ場とお酒についてです。

Vol.38 最終回
ゴルフ場とお酒

ゴルフとお酒の切っても切れないおいしい関係。

ゴルフとお酒、「19番ホールの楽しみ方」。

日本では飲酒運転は法律違反ですので、マイカーでゴルフ場に行くと、ラウンド中に「19番ホールのアルコールはダメですから」と話したりしますが、今回は、ゴルフと切っても切れないお酒の話です。

先日、福岡で開催されたヨットの世界的な大会「アメリカスカップ」の協賛記者発表に来日したボルドーの老舗「バロン・フィリップ・ド・ロスチャイルド」のユーグ・ルシャノワーヌ氏の話を伺う機会がありました。「シャトームートン」というブランドで有名ですが、「ムートンカデ」というワインはライダーカップのオフィシャルワインとして人気です。

ちなみに、ユーグさんは日本に留学経験もあるほど日本通で、ゴルフの腕前はハンデ3！ プロ並みです。アメリカスカップのセーラーたちはゴルフ好きが多く、代表のラッセル・クーツ氏や、チーム・ジャパンのバーカー氏も、ゴルフはシングルプレーヤーだそうです。やはり風を読むのが上手いのでしょうか。

そんなユーグさんとの話で盛り上がったのは、各国様々な「19番ホールの楽しみ方」です。例えば、ロンドン近郊のゴルフコースですと、最低でも4種類ぐらいのラガーやスタウトをラインナップし、あとはグラス売りのワインやウイスキーを好みますが、スコットランドでは、ウイスキーは欠かせません。また、フランスやスペイン、ポルトガルなどでは、当然ワインが提供されます。テーブルワインと呼ばれている、気軽に飲めるものがいいようです。

最高のワインを追求！オーガスタはワインの宝庫。

意外に、アメリカのゴルフ場でもワインを出すゴルフ場が多いんですよ。特に、食事のケータリングがしっかりしたゴルフクラブでは立派なワインリストもあり、おしゃれなサーバーを用意している所も増えていると聞きました。プレステージの高いゴルフクラブの場合、クラブ運営の経費をメンバーで平等割りをする場合が多いので、ワイン好きの多いゴルフクラブでは良いワインが期待されます。

確かに、私が今まで訪問したクラブハウスで一番充実したワインセラーは、やはりオーガスタナショナルです。冷戦時代に核シェルターとして使われていた地下には、空調施設を完備したセラーがあり、その取り揃えにはびっくりします。いつも美味しいワインを召し上がっている方々に対して、毎年、クラブハウス担当者やバイヤーが、メンバーから預かるお金でその年に購入できる最高のワインを苦労して手配するようです。また、いいワインは30年近く寝かせているにもかかわらず、ほぼ購入当時の値段であったりと、ワイン好きのプロに「核戦争が始まったら絶対にこのセラーにこもる！」と言わせる程のセレクションです。

さて、皆さんからのコメントや温かいお言葉をいただきながら、3年間続いたこのコラムも、今回で最終回となりました。テレビ中継、南米のゴルフ事情や食べ物、お酒の話などを交えた「世界ゴルフ識聞録」……長い間お付き合いいただきありがとうございました。またどこかで皆様にお会いできることを楽しみにしております。

ゴルフビジネスのプロフェッショナル
神野方仁（じんの・みちひと）
1956年生まれ。テレ・プランニング・インターナショナル株式会社・代表取締役社長。国内外のさまざまなスポーツビジネスに関わり、中でもゴルフはマスターズのようなメジャー大会からジュニアゴルフに至るまで、イベント、放送、広告、マーケティングなどの面に長年携わっている。日記を公開中　Fast Track Michi's Diary；www.tpi-j.co.jp/ceo_blog/

イラスト／ソリマチアキラ